

第13回釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-9サッカーフェスティバル

開催要項

- 目的** 日頃の練習成果を発揮し、試合を通してルールを習得するとともに、サッカーの楽しさを実感することを目指す。また、サッカーを通じて、健全な心身の発育・発達を図る。
- 名称** 第13回釧路市スポーツ振興財団理事長杯U-9サッカーフェスティバル
- 主催** 釧路地区サッカー協会（一財）釧路市スポーツ振興財団
- 主管** 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 後援** 釧路市教育委員会
- 期日** 平成29年9月16日(土)、9月17日(日)
- 会場** 阿寒町多目的運動広場
- 参加資格**
 - 平成29年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
 - 1チームの選手エントリーはフリーとし、3年生以下の学年構成とする。
 - 本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加盟していること。
 - 帯同審判を1名以上帯同できるチーム。
- 競技方法**
 - 8人制とする。1次ラウンド、順位トーナメント方式とする。
各ブロック2位までのチームが決勝トーナメントに進む。
決勝トーナメントに進めなかったチームでフェニックスリーグを行う。
1次ラウンドの順位は、勝点(勝ち3、引き分け1、負け0)・得失点差・総得点・直接対戦の順とし、同結果の場合はPK方式(3名)で決する。3チーム以上同率の場合は、抽選で決する。1つでも試合に棄権したチームは、全ての結果を0-5の負けとする。
 - 試合時間は20分(10分ハーフ・ハーフタイム3分)とする。
 - トーナメントで勝敗が決しない場合は、PK方式(3名)により次回進出チームを決する。ただし、決勝では6分間(3分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合は、PK方式(3名)で決定する。
 - ゴールキックは、ペナルティエリア内の任意の場所からのキックとする。
- 競技規則**
 - 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
 - チーム構成は、指導者4名、選手フリーとする。
 - 登録選手全員が、主審の許可を得ずに、交代ゾーンを使用して自由に交代することができる。交代して退いた競技者は、交代要員となって再び出場できる。
 - 参加チームは第1試合のみ、メンバー表を提出する。
第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
 - 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。
そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。
ただし、該当チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。
 - 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
 - 予選リーグにおける警告1回は、トーナメントに持ち越さない。
 - ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して、罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降は、ベンチからのコーチングを不可とする。
 - 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
 - スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
 - ユニフォームは1着以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。
対戦チームとユニフォーム色が重なった場合、ビブス対応も可とする。
 - ピッチサイズは60m×40mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
 - 1人制審判で行う。
- 参加申込** 年度当初のエントリーに変更がある場合は、8月7日(月)までに、4種委員長に連絡する。
- メンバー表** プログラム用メンバー表は、8月28日(月)までに、4種委員長にメールで送付する。
- 組み合わせ** 8月22日(火)の監督会議にて抽選を行う。
- 開会式** 行わない。
- 閉会式** 9月17日(日)各トーナメントの決勝戦終了後、各会場で行う。
決勝トーナメントは、準決勝まで残ったチームの選手・監督、フェニックスリーグは、各ブロック優勝チームの選手・監督が全員参加することを基本とする。
- その他**
 - 本大会の参加料は、1チーム3,000円とする。
 - 複数チーム参加することが出来る。ただし、1チームにつき1名の帯同審判を確保すること。
 - 合同チームの参加を認める。
 - 決勝トーナメントベスト4のチームは、次年度全道U-10北海道大会釧路地区予選にてシードする。